

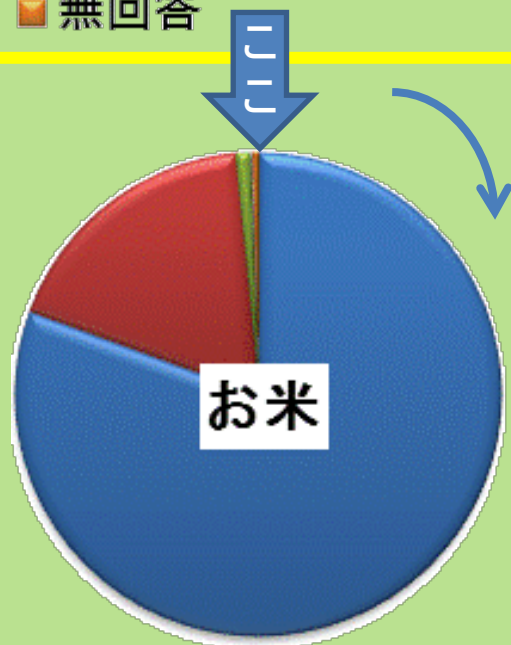
エコチル通信6月号

エコチル調査へのご協力いつもありがとうございます。今年は5月の夏日の日数が観測史上最高になるなど、夏を乗り切るのが今から不安になる天候ですが、熱中症などは大丈夫でしょうか。

子どもたちにとってこれから夏祭りなど楽しい行事が多くなる時期だと思しますので、ご家族みなさんで楽しく夏を乗り切ってください。

さて、今回も質問票からみなさんの回答を集計してみました。今回は、色々な食品を何時ごろから食べ始めたかです。1歳質問票と2歳質問票から集計しました。それぞれのご家庭で食べ始めに対する考え方があると思いますので、何歳から食べ始めるのがいいのかについての回答はありません。

- 6か月より前 生後6か月より前から食べ始めたにチェックされた方
- 7-8か月 7-8か月は、生後7-8か月の間に
9-10か月は、生後9-10か月の間に
11-12か月は、生後11か月から1歳までの間に食べ始めた方
- 9-10か月
- 11-12か月
- まだ 1歳の質問票を回答している段階ではまだ食べていない方、もしくは13か月以降に食べ始めたと回答した方は、「まだ」に含めています。
- 無回答



この円グラフは「ここ」からスタートです。最初が、「6か月より前」→右周りで次が「7-8か月」→……最後が「無回答」になります。

お米は、8割の方が生後6か月より前にエコチルベビーにあげていたようです。生後8か月までにほとんどの方がお子さんに食べさせていました。

■ 6か月より前

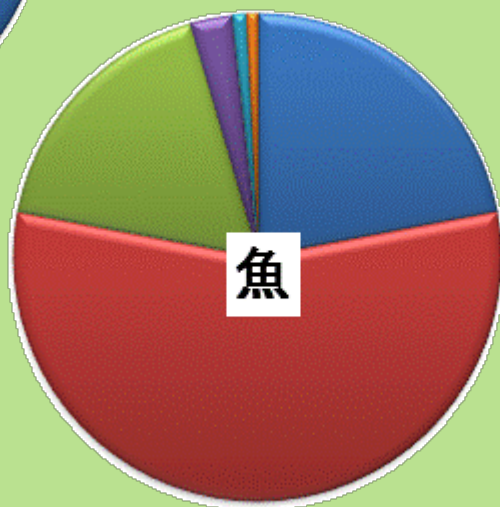
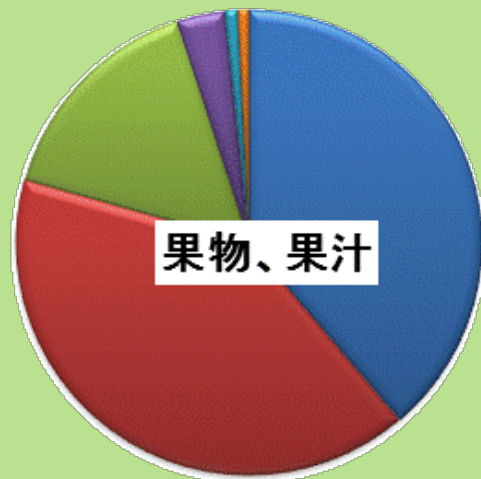
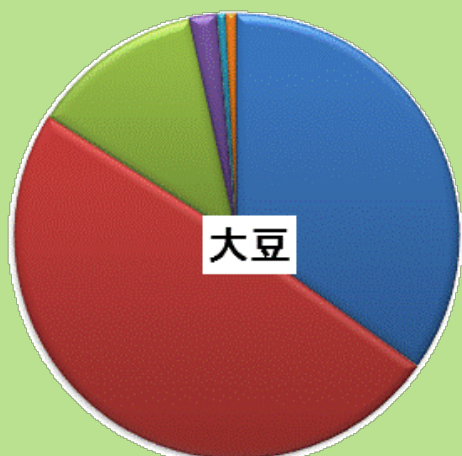
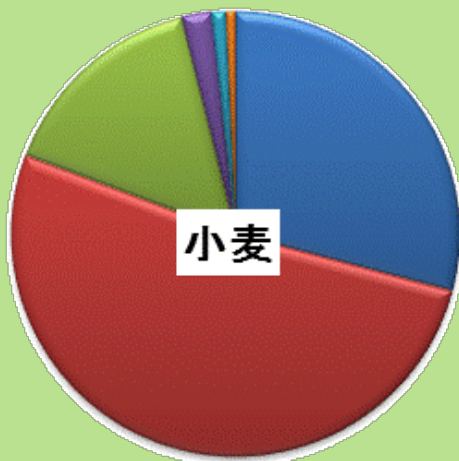
■ 7-8か月

■ 9-10か月

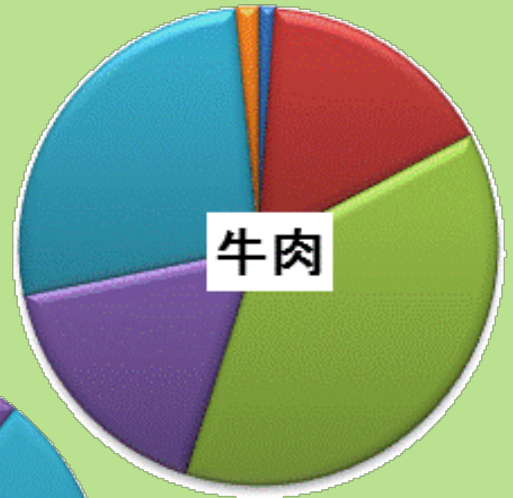
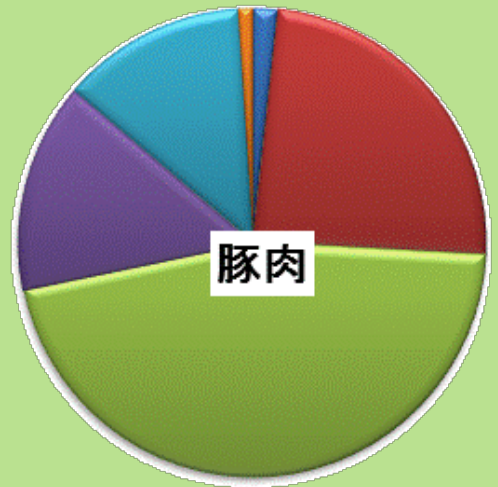
■ 11-12か月

■ まだ

■ 無回答

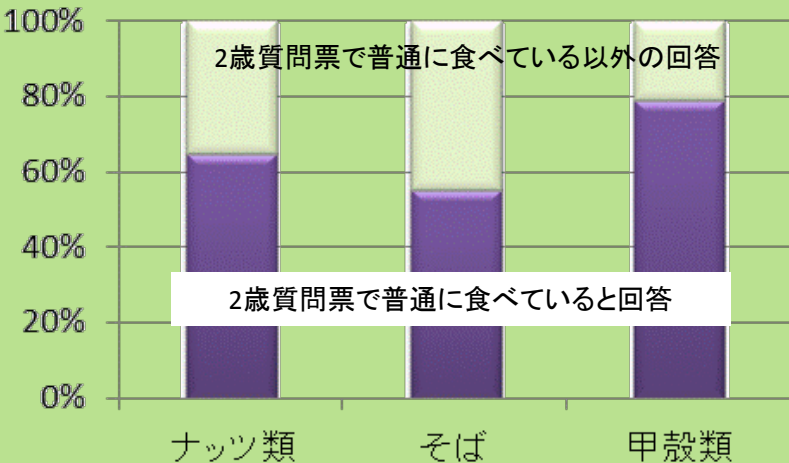


- 6か月より前
- 7-8か月
- 9-10か月
- 11-12か月
- まだ
- 無回答



ピーナッツ、エビ・かに、そばは、6か月より前には食べていたエコチルベビーはいないですね。

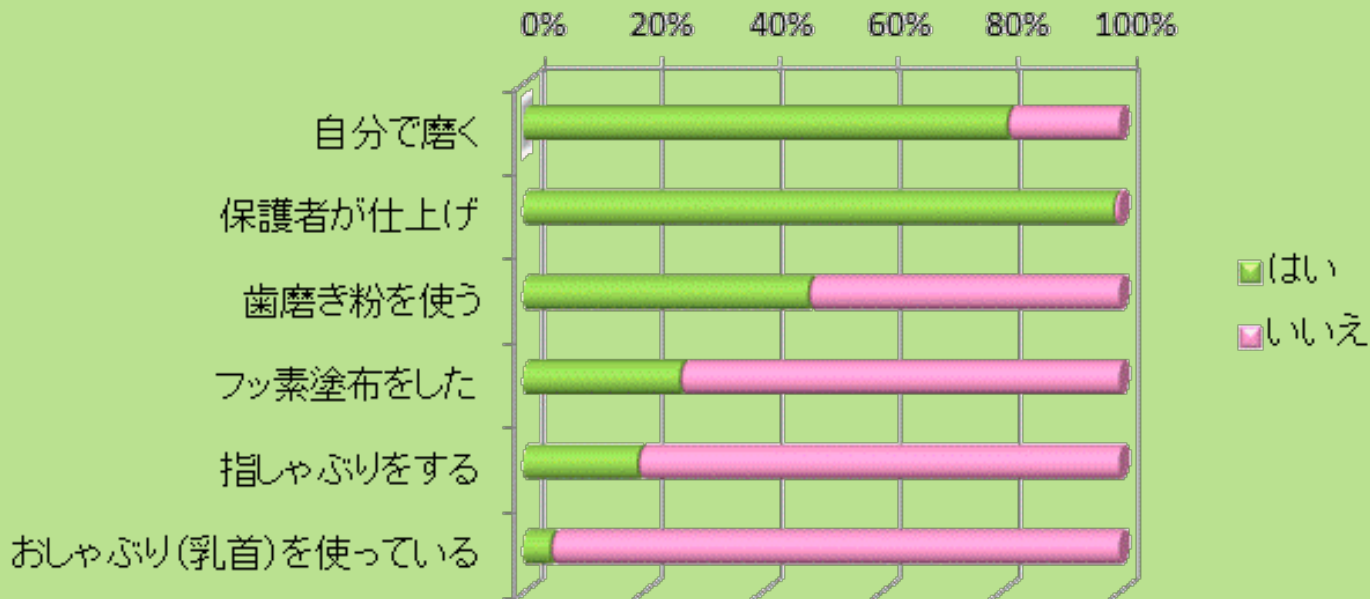
2歳では……



2歳の質問票から2歳のときの状況を回答してもらっています。1歳では「ピーナッツ」を聞いていますが、2歳では「ナッツ類」。「えび・かに」は「甲殻類」に質問が変わっています。

前回2月のエコチル通信で「歯ブラシによる子どもの事故」を特集しましたが、今回は、2歳質問票から歯磨き状況などについて、集計してみました。「お子さんが自分で磨く」と回答している方が8割いらっしゃいました。お子さんが自分で歯ブラシをしているときには、「歯ブラシ事故」の危険が伴いますので、十分気を付けてあげてください。

2歳質問票でお聞きしています。



指しゃぶりは、歯並びやかみ合わせに影響が出ることがあると言われています。ただし、2歳児では、まだまだ生理的な人間の行動なので、特に気にする必要はないそうです(日本小児歯科学会HPより)。

今年の7月には4歳になるエコチルキッズがいます。お母さんの妊娠中から考えると5年近くエコチル調査にご協力いただいています。本当にありがとうございます。色々な病気が発症するのはこれからです。色々な病気の発症と環境についての解明のために、これからもよろしくお願いします。これからもみなさんの回答結果をエコチル通信に載せていきたいとおもいます。



川崎病について

みなさん、はじめまして、横浜市立大学
医学部小児科学 主任教授の伊藤秀一です。
昨年11月に就任しましたので、まだ1年経っていない新人
です。今後長く続くエコチル調査も担当しますので、よろしく
お願いします。
私がエコチル調査に一番期待していることは、川崎病に
ついての発症要因が解明されることです。



川崎病とは1967年川崎富作博士によって発見された疾患ですが、日本人にとっても多く、主に4歳以下の乳幼児が発症し、血管に炎症が起きる疾患です。川崎病は自然治癒率が高く一過性の疾患ですが、患者さんの一部に心臓や心臓の冠状動脈に後遺症が起きることが問題となります。実は、川崎病は年々罹患者数が増えており、現在は罹患者率が小児人口10万人に200-250人が発症する状況です。ちなみに、2014年の発生数は14000人にもなりました。近年になり川崎病を起こしやすい遺伝的な原因やいくつかの病原体が発症に関与する事が明らかにされてきましたが、今なお真の原因や発症の契機は解明されていません。

エコチル調査では定期的な調査の際に、参加されたお子さんの新規発症について調べ、追加の二次調査も実施しています。最終的にはエコチル参加者のうち500~1000人程度の川崎病の患者さんの発生が予想され、13歳までの真の発生率に加え、発症に関与する要因の発見が期待されます。近年、諸外国でもエコチルの様な大規模出生後の研究が実施されていますが、川崎病についての解析はわが国でしかなし得ない調査です。

皆さんのお手元に届く質問票に川崎病のり患状況についての質問が載っています。正確な調査を行うためにも、ご協力よろしくお願いします。



伊藤先生、はじめまして、
エコチルの笑子と健太です。
川崎病の発症要因の解明対策をこれから
よろしくお願いします。

